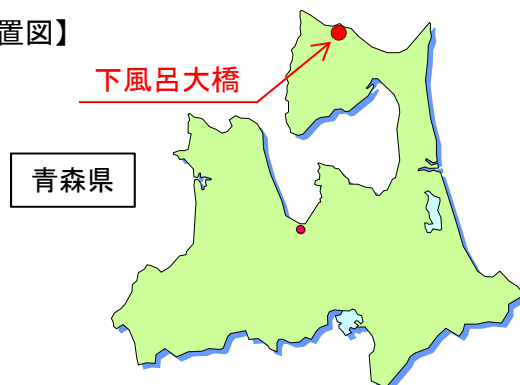


新しい技術による農道橋の点検診断(鋼橋) (青森県風間浦村)

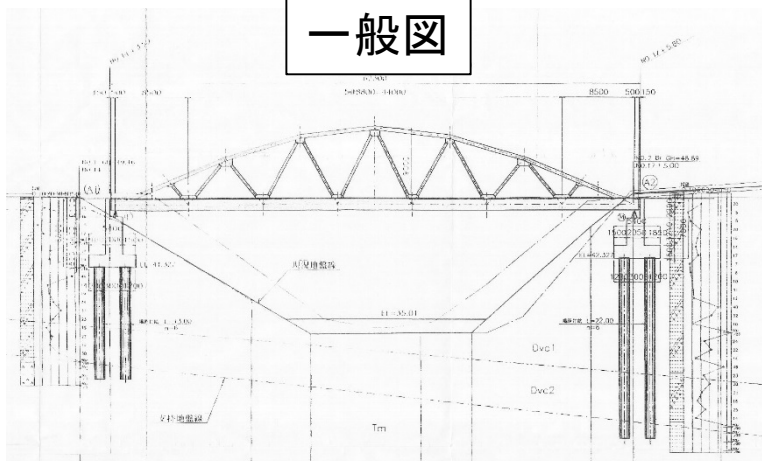
橋 梁 名	下風呂大橋
所 在 地	青森県下北郡風間浦村 大字下風呂地内
構 造	下路式トラスランガー桁橋
橋 長	62.3m
全 幅 員	8.5m
完 成 年 度	1997年(平成9年)
点検実施年度	2018年(平成30年)

【位置図】



【事例】

一般図



全景写真:橋面



橋梁点検車使用状況



床版のひび割れ



塗装剥離及び浮錆



【コメント】

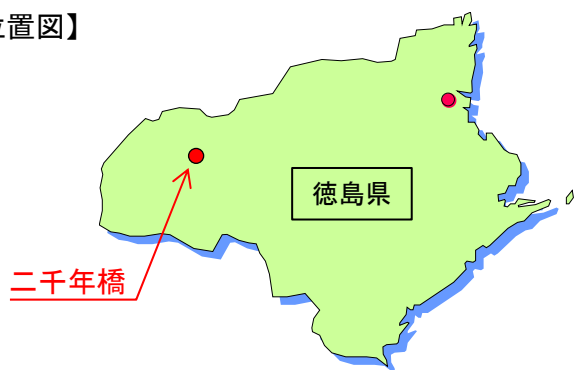
歩車道境界ブロックの幅が広く、通常の点検のように走行しながら点検することが困難だった。そのため歩車道境界ブロックをアウトリガーで跨ぐことにより、点検台を橋梁の外側へ出すこととし、走行しながらの点検は不可能ではあるが、格納後→移動を繰り返すことで点検を行った。

(青森県農林水産部農村整備課)

新しい技術による農道橋の点検診断(鋼橋)(徳島県三好郡東みよし町)

橋 梁 名	二千年橋
所 在 地	徳島県三好郡東みよし町東山
構 造	ランガーアーチ+非合成鉄桁橋
橋 長	130m(95m+32.85m)
全 幅 員	7.2m
完 成 年 度	2000年(平成12年)
点検実施年度	2016年(平成28年)

【位置図】



【事例】

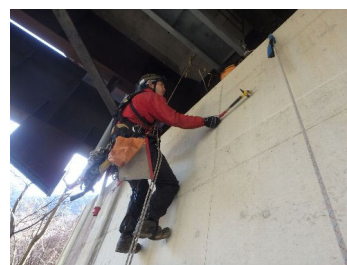


側面全景

点検状況



橋梁点検車



ロープアクセス



補鋼材ボルトの腐食



アーチ部横支材の腐食



床版ひび割れ



P1橋脚ひび割れ

- ・徳島県橋梁定期点検マニュアルに基づき実施。上部工は高所作業車と橋梁点検車、下部工はロープアクセスにより点検を行った。
- ・鋼材の腐食は局所的なもので、耐候性鋼材の安定錆が部分的に生成されなかったためと考える。
- ・床版、橋脚に遊離石灰を伴うひび割れ(コンクリート打設初期の乾燥収縮によるものと想定)を確認。
- ・大きな損傷も確認されなかったことから、比較的健全度の高い橋梁であると判断(健全度判定Ⅱ)

【コメント】

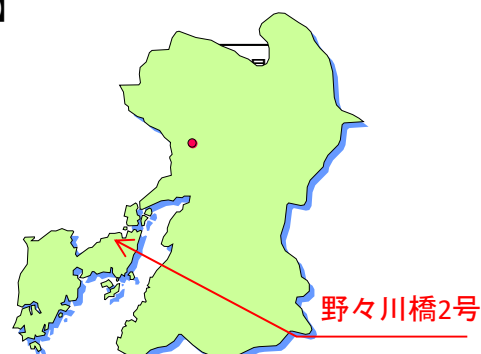
- ・平成29年度に道路管理者により耐震診断を実施済み。
- ・個別施設計画では、予防保全の観点から今後、床版のひび割れ対策(表面含浸工、ひび割れ注入工等)を予定している。

(徳島県生産基盤課)

新しい技術による農道橋の点検診断(コンクリート橋)(熊本県天草市)

橋 梁 名	野々川橋2号
所 在 地	熊本県上天草市大字地内
構 造	PC連続箱桁橋
橋 長	68.0m
全 幅 員	8.0m
完 成 年 度	1999年
点検実施年度	2013年

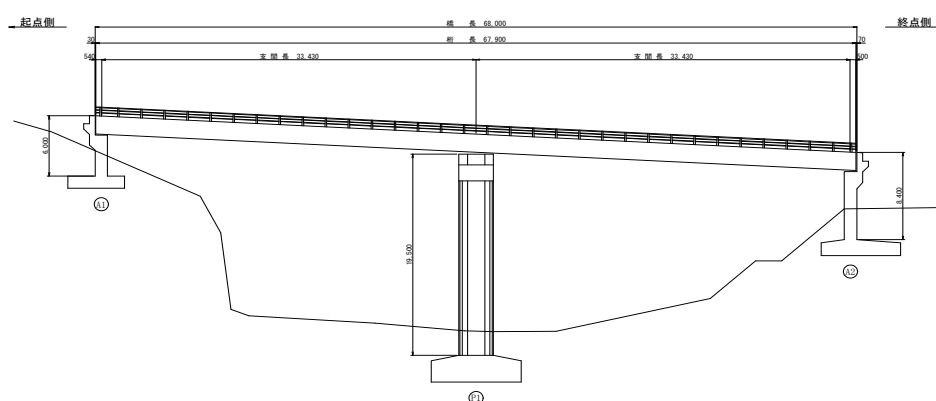
【位置図】



【事例】

【新たな技術の概要】

・目視で確認できない橋梁桁下面や橋台・橋脚を、橋梁点検車を用いて点検を実施することで、点検精度の向上を図った。



損傷状況及び補修方針(野々川橋2号)

調査位置		目視状況	損傷度の評価	主な劣化原因	処方の判定	補修設計への着目点	補修工法案
橋 面	高欄	腐食 防食機能の劣化	腐食(B)20% 防食機能の劣化(C)40%	経年劣化による損傷	8 追跡調査 (2年以内に再点検)	普段からの維持管理により腐食・防食機能の劣化を防ぐ	-----
	地覆	その他(シール材)	その他(E) 100%	経年劣化による損傷	2 機会を見て補修	普段からの通常点検を行う	シール材の取替え
	伸縮装置	変色・劣化 (ジョイントゴム部)	変色・劣化(E) 100%	経年劣化による損傷	2 機会を見て補修	普段からの通常点検を行う	取替え
	舗 装	路面の凹凸 (ひびわれ)	路面の凹凸(C) 100%	経年劣化による損傷	7 追跡調査 (1年以内に再点検)	普段からの通常点検を行う	-----
床版・主構	下 面						
排水施設							
下部工	A1橋台	ひびわれ 漏水・滲水	ひびわれ(C) 10% 漏水・滲水(E) 100%	初期欠陥によるひびわれ 橋面等からの漏水・滲水	2 機会を見て補修	比較的大きな損傷がなく、ただちに部材の耐力を喪失するわけではないため機会を見て補修を行う。	ひびわれ注入工
	A2橋台	ひびわれ 漏水・遊離石灰 漏水・滲水	ひびわれ(D) 30% 漏水・遊離石灰(C) 20% 漏水・滲水(E) 100%	初期欠陥によるひびわれ ひびわれ箇所からの漏水による遊離石灰 橋面等からの漏水・滲水	2 機会を見て補修	比較的大きな損傷がなく、ただちに部材の耐力を喪失するわけではないため機会を見て補修を行う。	ひびわれ注入工
	P1橋脚	ひびわれ	ひびわれ(C) 10% ひびわれ(D) 10%	初期欠陥によるひびわれ	2 機会を見て補修	比較的大きな損傷がなく、ただちに部材の耐力を喪失するわけではないため機会を見て補修を行う。	ひびわれ注入工

【コメント】

熊本地震による変状等は確認されなかった。

(熊本県天草広域本部農地整備課)